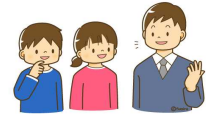




# 教育指導課便り

函館市教育委員会  
学校教育指導課  
平成24年2月20日発行  
VOL.12



## 中学校学習指導要領全面実施に向けて

中学校においては、いよいよ4月から、新学習指導要領の全面実施となり、組織的、計画的な教育課程の編成に取り組んでいることと思います。新年度を目前に改めて「指導計画の作成と内容の取扱い」について確認することが大切です。いくつか例をあげてみましたので、参考にしてください。

国語	<input type="checkbox"/> 書写の指導に配当する授業時数は、1学年及び2学年では、年間20単位時間程度、3学年では年間10単位時間程度になっていますか。
社会	<input type="checkbox"/> 各分野の履修については、1, 2学年を通じて地理的分野と歴史的分野を並行して学習させることを原則とし、3学年の最初に歴史的分野及び公民的分野を学習させる指導計画になっていますか。
理科	<input type="checkbox"/> 各分野におよそ同程度の授業時数配分となっていますか。 <input type="checkbox"/> 指導計画には、生徒が十分な観察や実験を行う時間や、問題解決のために探求する時間が設定されていますか。
音楽	<input type="checkbox"/> 歌唱教材では、各学年1曲以上取り扱っていますか。 「赤とんぼ」「荒城の月」「早春賦」「夏の思い出」「花」「花の街」「浜辺の歌」
美術	<input type="checkbox"/> 2・3学年では、自然や美術作品、文化遺産などの鑑賞を通して、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心を広げ、第1学年で学んだことを基に、美術や文化に対する理解を深めることができるようになっていますか。
保健体育	<input type="checkbox"/> 1・2学年の「E球技」では、ゴール型・ネット型・ベースボール型のすべてを取り上げていますか。 <input type="checkbox"/> 1・2学年で「F武道」及び「Gダンス」に関する種目を取り上げていますか。
外国語	<input type="checkbox"/> 授業時数や指導する語数の増加（900語程度→1200語程度）を踏まえ、身近な事柄について一層幅広いコミュニケーションが図れるよう、言語活動を設定していますか。

## 学校相互の連携や交流のために③

### ～高等学校との連携～

☆平成24年度から、中学校では数学や理科、外国語を中心に学習内容が増加します。平成25年度以降を見通し、中高が連携して教科指導の枠組みを考え、生徒が進学後も学習を継続しやすい環境について考えるよい機会とも言えます。地域によっては、小中高3校種で指導方法や子どもの学力の傾向について交流することも考えられます。

#### （学習に関する連携の例）

- 指導方法等についての協議
- 定期的な体験学習や授業交流
- 12年間を見通した「学習の手引」等の資料の作成
- 相互の参観の機会を増やす など

#### （その他の連携の例）

- 学校行事への参加
- 部活動の合同練習
- 各種検定試験の共催
- 地域公開実践への案内
- HPのリンク など